

日本地震工学会・大会－2008

一般発表およびセッションテーマの募集案内

大会実行委員会
委員長 源栄 正人

本年度も日本地震工学会では、地震・耐震工学に関連する横断的な幅広い研究課題について発表し、討論を深めるために、年次大会「日本地震工学会・大会－2008」を下記のとおり開催いたします。一般発表、オーガナイズドセッション、地震工学技術フェアを予定しております。

つきましては、一般発表およびセッションテーマを募集いたしますので、奮ってご応募くださるようお願いいたします。

なお、2008年度の年次大会（大会－2008）は、下記のとおり2008年11月3～5日に仙台にて開催されます。

日 程：2008年11月3日（月）～5日（水）

会 場：仙台市情報・産業プラザ（仙台市青葉区中央1-3-1, A E R 5階, 6階）

仙台駅前徒歩3分、<http://www.siip.city.sendai.jp/netu/access.html>

投稿料：（会員もしくは学生会員を含む場合）無料、（非会員のみの場合）5,000円

参加費：（会員）5,000円、（学生会員）1,000円、（非会員）10,000円、（学生非会員）4,000円

懇親会：2008年11月3日（月）午後5時30分から7時30分まで（予定）

（一般会費）一般3,000円、（学生会費）1,500円

● 一般発表の申し込み

発表題目、著者および所属、勤務先と所在地、電話・FAX・メールアドレス、応募部門、キーワード（4つ）を記入（貼り付けファイルでの記入はご遠慮ください）のうえ、9月10日までにお申し込み下さると同時に、発表論文（A4サイズ2ページ）を提出下さい。

プログラム編成上、お申し込みとは別のセッションに入れさせて頂く場合もありますので、ご了承下さい。

締 切：2008年9月10日（水）

申込方法：ウェブ投稿とします。

日本地震工学会のウェブ<http://www.jaee.gr.jp/index.html> から第6回日本地震工学会・大会-2008 →論文投稿 にアクセスして必要事項を書き込んだ上、発表論文ファイルをアップロードして下さい。書式は→執筆要領にしたがってください。

応募分野の分類：

- a.自然現象（地震動、地下構造、地盤、津波、歴史地震ほか）
 - a-1 震源特性、a-2 深い地下構造、a-3 地盤震動、a-4 地盤の液状化・斜面崩壊、a-5 津波・歴史地震その他
- b.構造物（地震応答、構造実験、耐震設計、免震、制振、診断補強、相互作用ほか）
 - b-1 地中構造物およびダム、b-2 杭および基礎構造、b-3 地盤と構造物の相互作用、b-4 土木構造物、b-5 建築構造物、b-6 機械設備系、b-7 免震・制振・ヘルスマニタリング、b-8 耐震補強、b-9 新しい構造・材料その他
- c.社会問題（ライフライン、災害情報、リスクマネジメント、防災計画、復興計画ほか）
 - c-1 ライフライン、c-2 緊急速報・災害情報、c-3 防災計画・リスクマネジメントおよび社会・経済問題、c-4 復興計画その他
- d.その他特別企画（最近の地震に関する調査報告、オーガナイズドセッションなど）

● セッションテーマのご提案と申し込み

大会－2008 では、オーガナイズドセッションを設定し、重要な課題について討議を深めるために、セッションテーマを募集します。セッションテーマとしては、応募部門におけるトピックスや日本地震工学会として新たに提起すべきテーマなどが考えられます。

テーマ名、座長案、発表者（数名）案、セッション提案者名を9月10日（水）までにご提案下さい（自薦・他薦を問いません）。大会実行委員会で全体調整の後、プログラムを作成させていただきます。なお、ご希望にそえないこともありますので、あらかじめご了承ください。

● 地震工学技術フェア

今年度の地震工学技術フェアでは研究用および普及型の地震計をテーマとして、地震計メーカーから出展していただくことになっております。すでにいくつかの地震計メーカーには直接連絡済みですが、出展に関してのお問い合わせは8月末頃までに日本地震工学会事務局を通して大会実行委員会あてにご連絡ください。